

工事費見積書及び工事費内訳書の記載例

NO.	部屋名	部分	名称	内容（仕様）	対象部分			住宅改修の種類	備考	
					数量	単価	金額			
1	玄関	壁（西側）	手すり	木製 35Φ L型 700×700	1	本	x x x	x x x	(1)	
			手すり取付金具	コーナースラケット	1	個	x x x	x x x	(1)	
			手すり取付金具	L付エンドブラケット	2	個	x x x	x x x	(1)	
			同取付け工賃		1	式		x x x	(1)	
2	廊下	壁（寝室前）	手すり	木製 35Φ I型 1800	1	本	x x x	x x x	(1)	
			手すり取付金具	L付受ブラケット	1	個	x x x	x x x	(1)	
			手すり取付金具	L付エンドブラケット	2	個	x x x	x x x	(1)	
			同取付け工賃		1	式		x x x	(1)	
3	廊下	壁（便所前）	手すり	木製 35Φ I型 700	1	本	x x x	x x x	(1)	
			下地補強板	L 800×W200×H15	1	枚	x x x	x x x	(1)	
			手すり取付金具	L付エンドブラケット	2	個	x x x	x x x	(1)	
			同取付け工賃		1	式		x x x	(1)	
			小 計				x x x x			
			諸経費		○%		x x x			
			合 計				x x x x			
			消費税		5%		x x x			
			総 合 計				x x x x			

工事費見積書・工事費内訳書の記載上の注意点 及び 事前申請時・支給申請時の注意点

- ① 項目については、部屋名、部位、内容（仕様）、単価、数量等は最低限区分して記載する。
- ② 材料費、施工費、諸経費を区分する。（材工一式は、材料費と施工費を区分できない時のみ）
- ③ 材料（手すり、スロープ、床材、便器等）については、その仕様を明記する。
- ④ 材料のカタログの提示（添付）を依頼する場合があります。
- ⑤ 添付図面は、被保険者の日常の動線が分かる平面図に施工箇所を記入し添付する。（事前申請時に、詳細図、立面図等を求める場合あり）
- ⑥ 見積書及び内訳書の番号（NO.）を、添付図面の施工箇所と、完成後提出する写真（施工前・施工後の分かる撮影日が分かる写真）に記入する。
- ⑦ 介護保険の住宅改修制度の対象外部分も同時に施工する場合は、見積書（内訳書）の項目を増やすなどして対応してください。
- ⑧ ⑦の場合、対象部分と対象外部分の分けについては、備考欄や図面上に明記してください。
- ⑨ 工事完成後の支給申請は、本人または家族に行ってもらいますが、申請書類が整った段階でケアマネージャーや施工業者が長寿介護課に確認に来ていただけると支給申請がスムーズに受理できます。

【住宅改修の種類】

改修内容	種類番号
手すりの取り付け	(1)
段差の解消	(2)
滑りの防止及び移動の円滑化等のための床又は通路面の材料の変更	(3)
引き戸等への扉の取替え	(4)
洋式便器等への便器の取替え	(5)
その他、前各改修に付帯して必要となる住宅改修	(6)